

2021年度

事業計画書
収支予算書

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

一般社団法人おいでん・さんそん

2021年度 事業計画

(2021年4月1日～2022年3月31日)

I 基本方針

一般社団法人おいでん・さんそん（以下「一社OS」という。）は、都市と山村が抱える課題をひとつながりのものとして捉え、都市と山村それぞれが持つ強みを生かして支え合い、新しい魅力や価値を生み出し、人口減少、超高齢社会の下でも、さまざまな暮らしが選択でき、持続可能で人々が幸せに暮らせる社会の実現をめざす。

このため一社OSは、公の信用と民間の柔軟性、機動力、専門性を生かし、志を共有する住民、行政、NPO、専門家がネットワークを広げ、共に汗を流して、都市と山村、人と人、地域と企業をつなぎ、課題の解決に努めるとともに、学び、探求し、得られた知見を広く発信する。

新型コロナウイルス感染症は、私たちが志す、支え合い、助け合う社会の重要性を浮き彫りにした一方、それを阻害する山村地域における不動産投機など新たな課題も生まれている。2021年度は、新たな行政計画である「おいでん・さんそんプラン」に基づくセンター業務の着実な推進を中心としつつ、すげの里指定管理の効果的実施、豊森なりわい塾を始めとする学びの探求、テーマ別の専門部会活動を通じて「つながる力で未来を変える」ミッションの実現を図るものとする。

2021年度の重点取り組み事項を以下のとおりとする。

- ① コロナ禍が生み出した新たな社会課題に向き合い、目指す未来の実現に向けた新たな方向性、アクションについて研究・実践する。
- ② 交流コーディネート推進チームを組織し、新規のマッチング、実績事業の新展開サポートを推進し、課題解決、関係人口の拡大を図る。
- ③ 移住、起業、就農など「いなか暮らし総合窓口」機能の拡充を図り、「空き家にあかりをプロジェクト2」などを通じ、定住先進地域のステップアップと山村地域全体への波及を図る。
- ④ 山村地域をフィールドとする豊森なりわい塾、ミライの職業訓練校の運営による人材の育成、関係人口の拡大、フィールドとなる地域の活性化を図る。また、足助高校魅力化準備会などを通じて山村地域の教育のあり方について探求する。
- ⑤ 「すげの里」指定管理の適確な遂行および拠点として求められる機能の最大化に向け、「つくラッセル」などの地域拠点や団体等との連携を推進する。
- ⑥ 目指す社会の実現に向けたテーマ別の専門部会事業の活性化に努めるほか、（一社）里モビリティ、（一社）三河の山里コミュニティパワーなど関連する団体との連携を図る。

II おいでん・さんそんセンター運営業務

(1) 総合窓口の運営

交流・連携・移住に関する相談、受付、取次ぎ、調整など、総合窓口としての業務を行う。

(2) 都市部と山村部の交流コーディネート

①山村部における交流イベント・事業の支援

- 関係人口の啓発イベント

②企業・団体等のCSR活動及びビジネスマッチング

- 企業マッチングツアー、オンラインイベント

③集落活動支援

- 集落活動応援隊活動

(3) いなか暮らしコーディネート

①いなか暮らし総合窓口の運営

②山村における生業創出支援

- ミライの職業訓練校運営支援

③山村に関わる人材の発掘・育成

④山村における教育環境の調査研究

(4) 山村の魅力・価値PR

①山村部への移住プロモーション

- ローカルメディア縁側

- 空き家発掘のための動画制作

②いなかとまちのくるま座ミーティング開催

③山村の魅力発信イベントの支援

④ホームページ・フェイスブック等のWEBを活用した情報発信・管理

⑤機関誌の発行

⑥パンフレット等の紙媒体を活用した情報発信

⑦その他必要なPR活動

Ⅲ 豊森なりわい塾

豊田市、トヨタ自動車(株)、NPO 法人地域の未来・志援センター、一社 OS が実行委員会を組織、運営する豊森なりわい塾の事務局を担う。

豊森なりわい塾は、豊田市の山村部をフィールドに、「あるく・みる・きく」ことを通して学び、これからの生き方、働き方、社会のカタチを考える人材育成事業であり、以下の視点で取り組む。また、人材育成事業の今後の展開について検討する。

- ①フィールドを基軸として活動する中間支援組織としての立ち位置を生かす。
- ②フィールドとなる地域の活性化につながる取組みとする。
- ③塾の新たなフェーズに向けた運営方針の検討、準備を行う。

Ⅳ 里山くらし体験館「すげの里」指定管理

豊田市里山くらし体験館「すげの里」の指定管理を2019年度より2021年度までの

期間受託する。運営にあたっては、おいでん・さんそんセンター、すげの里、つくラッセルの連携を重視し、豊かな里山暮らし実現に向けた取組効果の最大化を図るものとし、以下の視点で取り組む。

- ①地域との連携により里山暮らしのモデルをつくる
- ②コーディネート機能、活動拠点機能の強化を図る
- ③宿泊機能のフル活用を図る
- ④中山間地域の「農の営み」を未来につなぐ拠点とする
- ⑤次期の受託に向けて、課題、改善点等を洗い出す。

V ネットワークの拡大

(1) プラットフォーム会議

おいでん・さんそんセンターおよび一社OSの運営に関する協議を行うため、一社OS役員、職員および理事会が認めた者で構成するプラットフォーム会議を、概ね2月ごとに定期開催する。

(2) 専門部会

一社OSがめざす社会の実現に向けた研究・実践のため、テーマを共有する市民、NPO、行政、専門家による「地域スモールビジネス」、「移住・定住」、「次世代育成」、「食と農」、「森林」、「セカンドスクール」に関する開かれた専門部会を設ける。また、理事会の決定により新たなテーマの専門部会を設け、研究・実践を通じてネットワークの拡大を図る。

(3) その他のネットワークの拡大

賛助会員、パートナー会員の拡大に努め、一社OSを支える裾野の広い人のネットワーク形成をめざす。また、(一社)里モビニティはじめ、志を共有する多様な取組みに参画、協力する。

情報発信、ネットワーク拡大を図るため、ローカルメディア「縁側」の拡充、読者拡大に努めるとともに、求人事業の本格化に向けて研究する。

VI 管理・運営体制の充実

(1) 職員の資質の向上と事務システムの確立

職員の資質の向上と、人材ネットワークの広がりを目指し、各種学会、シンポジウム、研究会、研修会、勉強会等に積極的に参加する。また、一般社団法人としての適正な業務執行のため、スキルの習得、事務システムの改善に務める。

(2) 委員会および講師等の派遣等

一社OSが目指す社会の実現のため、市、団体等が主催する委員会、研究会の委員および講演会、研修等の講師の依頼、視察の申し入れに対しては、積極的にこれに協力・対応する。

収支予算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位 円)

科目	当年度	前年度	増減	摘要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	400,000	395,000	5,000	
正社員会費	195,000	185,000	10,000	
賛助会費	200,000	200,000	0	
パートナー会費	5,000	10,000	▲5,000	
② 受取寄付金	5,000,000	5,000,000	0	
トヨタ自動車寄付金	5,000,000	5,000,000	0	
③ 事業収益	52,337,417	54,757,947	▲2,420,530	
OSC運営事業受託金	39,821,980	39,830,780	▲8,800	
すげの里指定管理事業受託金	9,371,867	9,146,867	225,000	
豊田市 負担金		0	0	
その他 受託金	983,570	4,008,700	▲3,025,130	
自主事業収益	2,160,000	1,771,600	388,400	
③ 受取補助金等	2,500,000	2,500,000	0	
農政課 補助金	2,500,000	2,500,000	0	
④ 雑収益	145,000	90,000	55,000	
経常収益計(A)	60,382,417	62,742,947	▲2,360,530	
(2) 経常費用				
① 事業費	52,106,250	50,766,412	1,339,838	
OSC運営委託事業費	25,962,000	28,536,920	▲2,574,920	
すげの里指定管理事業費	8,646,680	8,931,792	▲285,112	
豊森なりわい塾支援事業費	9,000,000	5,000,000	4,000,000	
自主事業費	8,497,570	8,297,700	199,870	
② 管理費	18,782,187	19,918,599	▲1,136,412	
人件費	13,176,000	9,114,880	4,061,120	
研修費	260,000	450,000	▲190,000	
消耗品費	960,000	1,298,980	▲338,980	
図書費	0	30,000	▲30,000	
賃借料	960,000	960,000	0	
建物付属設備費	0	120,000	▲120,000	
什器備品	200,000	750,000	▲550,000	
その他経費	2,551,187	4,605,000	▲2,053,813	
退職給付費用	675,000	2,589,739	▲1,914,739	
			0	
経常費用計(B)	70,888,437	70,685,011	203,426	
当期経常増減額(A)-(B)	▲10,506,020	▲7,942,064	▲2,563,956	
2. 経常外増減の部			0	
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
法人税、住民税及び事業税	22,000	0	22,000	
当期一般正味財産増減額	▲6,528,020	▲7,942,064	1,414,044	
一般正味財産期首残高	22,000,000	17,000,000		かなりの概算見込み額
一般正味財産期末残高	15,471,980	9,057,936		
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	▲4,000,000	-		
指定正味財産期首残高	4,000,000	-		
指定正味財産期末残高	0	-		
III 正味財産期末残高	15,471,980	9,057,936	6,414,044	

【備考】

収支予算書内訳表
2021年4月1日から2022年3月31日まで

単位(円)

科目	OSC運営委託事業	すげの里指定管理事業	豊森なりわい塾支援事業	自主事業	合計
I一般正味財産増減の部					
1.経常増減の部					
(1)経常収益					
受取会費	-	-	-	400,000	400,000
正社員会費	-	-	-	195,000	195,000
賛助会費	-	-	-	200,000	200,000
パートナー会費	-	-	-	5,000	5,000
受取寄付金	-	-	5,000,000	-	5,000,000
トヨタ自動車寄付金	-	-	5,000,000	-	5,000,000
事業収益	39,821,980	9,371,867	0	3,143,570	52,337,417
豊田市 受託金	39,821,980	9,146,867	-	-	48,968,847
その他 受託金	-	-	-	983,570	983,570
自主事業収益	-	225,000	-	2,160,000	2,385,000
受取補助金等	-	-	-	2,500,000	2,500,000
農政課 補助金	-	-	-	2,500,000	2,500,000
雑収益	0	-	0	145,000	145,000
経常収益計(a)	39,821,980	9,371,867	5,000,000	6,188,570	60,382,417
(2)経常費用					0
①事業費(c)	25,962,000	8,646,680	9,000,000	8,497,570	52,106,250
交流コーディネーター事業	550,000	-	-	-	550,000
企業マッチング	120,000	-	-	-	120,000
関係人口啓発	400,000	-	-	-	400,000
集落活動応援隊	30,000	-	-	-	30,000
いなか暮らしコーディネーター事業	1,200,000	-	-	-	1,200,000
ミライの職業訓練校運営費	1,200,000	-	-	-	1,200,000
山村の魅力・価値PR事業	2,912,000	-	-	-	2,912,000
くるま座ミーティング	400,000	-	-	-	400,000
さんそんSHOW印刷製本費	280,000	-	-	-	280,000
HP管理・運営費	232,000	-	-	-	232,000
交流イベント負担金	500,000	-	-	-	500,000
移住PR費	1,400,000	-	-	-	1,400,000
その他広報PR費	100,000	-	-	-	100,000
施設管理費	-	1,890,240	-	-	1,890,240
燃料費	-	165,000	-	-	165,000
光熱水料費	-	143,000	-	-	143,000
消耗品費	-	154,000	-	-	154,000
印刷製本費	-	46,200	-	-	46,200
通信運搬費	-	181,500	-	-	181,500
支払手数料	-	65,340	-	-	65,340
衛生管理費	-	529,100	-	-	529,100
広告宣伝費(HP管理手数料)	-	49,500	-	-	49,500
修繕費	-	247,500	-	-	247,500
委託費	-	309,100	-	-	309,100
管理者自主事業運営費	-	422,400	-	-	422,400
豊森なりわい塾負担金	-	-	9,000,000	-	9,000,000
専門部会支援費	-	-	-	3,622,570	3,622,570
地域SB研	-	-	-	0	0
森林部会	-	-	-	983,570	983,570
次世代育成部会	-	-	-	33,000	33,000
カドスクール部会	-	-	-	2,500,000	2,500,000
食と農部会	-	-	-	66,000	66,000
移住定住部会	-	-	-	0	0
ネットワーク拡大部会	-	-	-	40,000	40,000
ローカルメディア・その他事業	-	-	-	425,000	425,000
仕入	-	-	-	100,000	100,000
視察コーディネーター事業他	-	-	-	100,000	100,000
共通費	21,300,000	6,334,040	-	4,250,000	31,884,040
人件費	21,100,000	6,304,040	-	4,220,000	31,624,040
旅費交通費	200,000	30,000	-	30,000	260,000
②管理費(d)	12,561,000	725,187	0	5,496,000	18,782,187
人件費	9,700,000	-	-	3,476,000	13,176,000
旅費交通費	100,000	-	-	-	100,000
研修費	260,000	-	-	-	260,000
通信運搬費	80,000	-	-	360,000	440,000
消耗品費	560,000	-	-	400,000	960,000
什器備品(消什備品)費	-	-	-	200,000	200,000
図書費	-	-	-	-	0
水道光熱費	100,000	-	-	-	100,000
貸借料	840,000	-	-	120,000	960,000
会費	35,000	-	-	-	35,000
支払い報酬	450,000	-	-	-	450,000
車両費	180,000	-	-	-	180,000
保険料	166,000	110,000	-	-	276,000
その他経費	90,000	615,187	-	265,000	970,187
退職給付費用	-	-	-	675,000	675,000
経常費用計(b)	38,523,000	9,371,867	9,000,000	13,993,570	70,888,437
当期経常増減額(a)-(b)	1,298,980	0	▲4,000,000	▲7,805,000	▲10,506,020
2.経常外増減の部					0
(1)経常外収益	-	-	-	-	0
(2)経常外費用	-	-	-	-	0
当期経常外増減額	-	-	-	-	0
法人税、住民税及び事業税				22,000	22,000
当期一般正味財産増減額	1,298,980	0		▲7,827,000	▲6,528,020
一般正味財産期首残高	0	0	0	22,000,000	22,000,000
一般正味財産期末残高	1,298,980	0	0	14,173,000	15,471,980
II指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額			▲4,000,000		▲4,000,000
指定正味財産期首残高			4,000,000	0	4,000,000
指定正味財産期末残高			0	0	0
III正味財産期末残高	1,298,980	0	0	14,173,000	15,471,980
備考					